
魔術と魔法 また魔術士と魔法使い その違い

天月黎璽

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

魔術と魔法 また魔術士と魔法使い その違い

【Nコード】

N1410L

【作者名】

天月黎璽

【あらすじ】

丈短裾氷玖大学教授暁ユギト氏の魔術と魔法の基礎知識

(前書き)

「魔法・魔術基礎」

暁ユギト

2010・04・30(FRI)

魔術も魔法も、魔力により自己や他者、世界に関渉するものであるが、似て非なるものである。
例として氷属性の魔術士と魔法使いを挙げよう。

魔術士は四大元素、四属性の火、水、土、風の内、水と風を組み合わせ、術とする。

気流により空気中の水分が移動、雨雲を作りさらに雪雲へと変える、
と言えば解り易いだろうか。

風の術で気流を、水の術で水分を操り、雪の結晶を作り出す。

基本はこれであり、応用により結晶の体積、質量、形状を変化させる。

また、その過程で生まれる冷氣そのものを風の術で操ることもできる。

それに対し、魔法使いは火の術により、法とする。

つまりは、温度変化そのものであり、熱を奪い去るのである。

それは物質からエネルギーが無くなることであり、0になれば理論上全ての物質は崩壊する。

そして、魔法使いはそれを、絶対零度を可能とする。

…魔術士には、まず、その様なことはできない。

なぜなら、彼らが水を凍らせるには、上記の通り、その水が必要だからである。

エネルギーが0になれば、全ての物質は崩壊する。それは水も例外では無い。

水の分子がその形を保っていられない、つまりは、水というものが存在しなくなる。これは矛盾である。

そもそも、エネルギーが無ければ気流は生まれず、術は成り立たないのである。

それどころか、自分の魔力を消費し行うのであるから、自らがエネルギー源であることも踏まえておかなければならない…

この様に、魔法は対象の「普遍的なあり方」に直接作用し改変する、まさしく「恐るべき掟」を生み出すものである。

対して、魔術は「普遍的なあり方」に則ったものに過ぎず、あまり大規模で無ければ時間と労力等が有れば可能なものが多い。また、学問色が強く、魔法と比べ極めるのは然程困難では無い。

…自らがエネルギーの、熱の発生源であるにも関わらず、氷属性の魔法使いが絶対零度を可能とする理由、

それは彼らが「負の存在」であるからに他ならない。

「負の存在」。つまり陰の存在、「闇の存在」である…

(後書き)

丈短裾氷玖大学より

「教員、研究者、助手等人材求む」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1410/>

魔術と魔法 また魔術士と魔法使い その違い

2010年10月21日20時12分発行